

## 目 次

1. 平成26年8月4日（月曜日）	3
2. 議事及び会期日程表	3
3. 議事日程（第1号）	4
4. 開 会	6
5. 日程第1 会議録署名議員の指名	6
6. 日程第2 会期の決定	6
7. 日程第3 市長あいさつ	6
8. 日程第4 議案上程（議第88号）	8
9. 日程第5 提案理由の説明	8
11. 日程第6 議案の委員会付託	9
12. 日程第7 委員長報告	10
13. 日程第8 質疑・討論・採決	14
15. 閉 会	16
16. 署 名 欄	17

第 1 号

8月4日 (月)

## 平成26年第4回玉名市議会臨時会議事及び会期日程表

8月4日（月曜日）

開 会 宣 告          午前10時00分

日程第1 会議録署名議員の指名

日程第2 会期の決定

日程第3 市長あいさつ

日程第4 議案上程

議第88号 平成26年度玉名市一般会計補正予算（第2号）

日程第5 提案理由の説明

日程第6 議案の委員会付託

（休憩中委員会）

日程第7 委員長報告

1 総務委員長報告

2 文教厚生委員長報告

日程第8 質疑・討論・採決

閉 会 宣 告

## 平成26年第4回玉名市議会臨時会会議録（第1号）

### 議事日程（第1号）

平成26年8月4日（月曜日）午前10時開議

- 日程第1 会議録署名議員の指名  
日程第2 会期の決定  
日程第3 市長あいさつ  
日程第4 議案上程（議第88号）  
日程第5 提案理由の説明  
日程第6 議案の委員会付託  
(休憩中委員会)  
日程第7 委員長報告  
1 総務委員長報告  
2 文教厚生委員長報告  
日程第8 質疑・討論・採決  
閉 会 宣 告

\*\*\*\*\*

### 本日の会議に付した事件

- 日程第1 会議録署名議員の指名  
日程第2 会期の決定  
日程第3 市長あいさつ  
日程第4 議案上程  
議第88号 平成26年度玉名市一般会計補正予算（第2号）  
日程第5 提案理由の説明  
日程第6 議案の委員会付託  
(休憩中委員会)  
日程第7 委員長報告  
1 総務委員長報告  
2 文教厚生委員長報告  
日程第8 質疑・討論・採決  
閉 会 宣 告

\*\*\*\*\*

### 出席議員（24名）

- |     |           |     |             |
|-----|-----------|-----|-------------|
| 1 番 | 北 本 将 幸 君 | 2 番 | 多 田 隈 啓 二 君 |
| 3 番 | 松 本 憲 二 君 | 4 番 | 徳 村 登 志 郎 君 |

5番	城戸	淳	君	6番	西川	裕文	君
7番	嶋村	徹	君	8番	内田	靖信	君
9番	江田	計司	君	10番	田中	英雄	君
11番	横手	良弘	君	12番	近松	恵美子	さん
13番	福嶋	譲治	君	14番	永野	忠弘	君
15番	宮田	知美	君	16番	前田	正治	君
17番	森川	和博	君	18番	高村	四郎	君
19番	中尾	嘉男	君	20番	田畑	久吉	君
21番	小屋野	幸隆	君	22番	竹下	幸治	君
23番	吉田	喜徳	君	24番	作本	幸男	君

\*\*\*\*\*

**欠席議員（なし）**

\*\*\*\*\*

**事務局職員出席者**

事務局長	吉川	義臣	君	事務局次長	堀内	政信	君
次長補佐	平田	光紀	君	書記	松尾	和俊	君
書記	富田	享助	君				

\*\*\*\*\*

**説明のため出席した者**

市長	高寄	哲哉	君	副市長	斉藤	誠	君
総務部長	西田	美德	君	企画経営部長	原口	和義	君
市民生活部長	北本	義博	君	健康福祉部長	前川	哲也	君
産業経済部長	北口	英一	君	建設部長	藤井	義三	君
会計管理者	宮本	道之	君	企業局長	本田	優志	君
教育委員長	桑本	隆則	君	教育長	池田	誠一	君
教育部長	伊子	裕幸	君				

午前10時03分 開会

\*\*\*\*\*

○議長（作本幸男君） あらためましておはようございます。

ただいまから、平成26年第4回玉名市議会臨時会を開会いたします。

これより本日の会議を開きます。

\*\*\*\*\*

#### 日程第1 会議録署名議員の指名

○議長（作本幸男君） 日程第1、「会議録署名議員の指名」を行ないます。

会議録署名議員は、会議規則第88条の規定により議長において指名いたします。

11番議員 横手良弘君、12番議員 近松恵美子さん、以上の両君を指名いたします。

\*\*\*\*\*

#### 日程第2 会期の決定

○議長（作本幸男君） 日程第2、「会期の決定」を議題といたします。

お諮りいたします。このたびの臨時会の会期については、7月28日の議会運営委員会の結論に基づき、本日8月4日の1日間にしたいと思っております。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（作本幸男君） 御異議なしと認めます。よって、会期は本日8月4日の1日間に決定いたしました。

\*\*\*\*\*

#### 日程第3 市長あいさつ

○議長（作本幸男君） 日程第3、「市長あいさつ」を行ないます。

市長より発言の申し出がっておりますので、これを許可いたします。

市長、高寄哲哉君。

〔市長 高寄哲哉君 登壇〕

○市長（高寄哲哉君） 皆さん、おはようございます。

本日、平成26年第4回玉名市議会臨時会を招集いたしましたところ、議員各位におかれましてはお忙しい中、御出席を賜り、感謝を申し上げます。開会にあたりまして一言ごあいさつを申し上げます。

今年の梅雨も気象庁より7月21日、熊本県を含む九州北部が梅雨明けしたとみられると発表がございました。

梅雨期間中は、長崎県におきまして50年に1度とされる値を越える猛烈な雨を観測し、本市岱明町におきましては7月の観測史上最大となる1時間60ミリの非常に激し

い雨を観測したところでございます。さらには沖縄県で特別警報が発表された7月としては過去最強クラスと言われた台風8号が九州に上陸いたしました。

また、現在、台風11号及び12号が北上いたしております。12号は黄海方面へ、また11号は日本列島に接近中で、予断を許さない状況となっております。被害がないことをただただ祈るばかりでございます。本市も台風の進路によっては、万全の体制で臨まなければならないところでございます。梅雨期間中、本市におきましては、幸いにも大きな被害はありませんでしたが、各地で災害にあわれた方々に対し、心からお見舞いを申し上げます。

梅雨が明けた途端連日のように、うだるような暑さが続いております。熱中症で搬送される方が多数いらっしゃるとの報道もあっております。議員各位におかれましては健康に十分注意をしていただきたいと思います。

先月2日から7日にかけて、本市の姉妹都市でありますアメリカ・アイオワ州のクラリンド市を公式訪問してまいりました。議員各位も御存じのとおり、クラリンド市は、スウィング・ジャズで有名なグレン・ミラーの生誕地でもあり、本市とは合併前の旧玉名市時代の1996年（平成8年）に姉妹都市の締結を行なって以来、国際交流の輪を広げ、合併以降も末永く交流をいたしているところでございます。

今回の訪問では、グレン・ミラー記念館での歓迎式典がとり行なわれ、たくさんの方々からの歓迎を受けたところでございます。また、歴史博物館、クラリンド地域保健センターやコケンジ市長の農業牧場などの視察を行なってまいりました。

今回の公式訪問団のうち、市内中学校から2名の女子中学生が参加され、ホームステイを体験されたところでもございます。2人におかれましては、短い滞在の中でも、異文化の中で、生の英会話に触れることで国際交流の必要性を十分に感じ取っていただけたものと思っております。今後もこの交流が末永く続いていく必要性を感じたところでございます。

さて、本市教育委員会が進めております学校規模・配置適正化基本計画は、近年の少子化により児童生徒数が減少することを踏まえ、子供たちの教育の機会均等と教育水準の向上、教育効果の上がる学級規模の確保、そして子供たちのより豊かな人間性や社会性の育成と、さらなる学力の向上を図ることを目的に進めているところであり、計画推進に当たっては、まず、複式学級を有する学校が多い玉陵中学校区を最優先に取り組んでいるところでございます。

当初計画では、玉陵中校区の6小学校を1校に統合し、平成29年4月開校を目指しておりましたが、再編統合に係る予算が「地元住民の十分な理解を得ているとは言いづらい。」との理由で、御承認いただけず、現在は平成30年4月開校を目標としているところでございます。

この目標は、「玉陵中学校区新しい学校づくり委員会」においても、「複式学級の解消を目的とした段階的な統合はせず、平成30年に6校を一斉に統合する」との回答をいただいているところでございます。

しかしながら、平成30年4月開校を実現するためには、新しい学校の建設のための用地拡張に当たり、当該用地の農業振興地域内の農用地区域からの除外のための申請、いわゆる農振除外申請を今年9月までに行なう必要がございます。また、申請に当たっては、地権者同意などの事前行為が必要であるため、今臨時議会に再編統合に係る関係予算を再度お願いするものでございます。

教育委員会では、「地元住民の十分な理解を得ているとはいえない」、「統合に否定的な意見も多数あり、住民の理解と合意が不十分の状況である」との議会からの御意見を真摯に受けとめ、各地域での説明会や意見交換会、保護者の皆さんとの意見交換、さらには、地域住民の皆さんに個別に意見を伺うなど、地域住民の皆さんの合意形成に努めてきたところであり、今後も、継続して説明責任を果たしてまいりたいと考えているところでございます。

今回の臨時議会では、補正予算1件を御提案いたしております。

平成26年度一般会計の補正予算でございますが、学校規模適正化事業につきましては、先ほども申しましたとおり、9月末の農業振興地域整備計画の個別見直し申請に準備期間を要するため、補正を行なう必要が生じたもので提案するものでございます。

また、複式学級を有する小学校に複式学級教育支援員を配置することで、子供たちの教育環境の向上を図ってまいります。

詳しくは総務部長からの提案理由説明の中で申し上げますので、これらの提案につきましてよろしく御審議をいただき、いずれも原案どおり御承認賜りますようお願い申し上げます。召集のあいさつといたします。よろしくお願いたします。

\*\*\*\*\*

#### 日程第4 議案上程（議第88号）

○議長（作本幸男君） 日程第4、「議案上程」を行ないます。

これより議案を上程いたします。

議第88号平成26年度玉名市一般会計補正予算（第2号）の議案1件を議題といたします。

お手元に配付しております議案の朗読は、これを省略いたします。

\*\*\*\*\*

#### 日程第5 提案理由の説明

○議長（作本幸男君） 日程第5、「提案理由の説明」を行ないます。

ただいまの議案について提案理由の説明を求めます。



総務部長 西田美徳君。

[総務部長 西田美徳君 登壇]

○総務部長（西田美徳君） おはようございます。

補正予算関係につきまして提案理由の御説明を申し上げます。

資料の1ページでございます。議第88号平成26年度玉名市一般会計補正予算（第2号）について御説明を申し上げます。

第1表歳入歳出予算補正においては、歳入歳出それぞれ5,352万6,000円を追加し、総額を301億2,990万8,000円とするものです。

学校規模適正化事業につきまして、9月末の農業振興地域整備計画の個別見直し申請に準備期間を要するため。また、農地転用申請や文化財試掘調査など今後の工程を考慮し、補正を行なうものでございます。

主な内容でございますが、歳出の10款教育費は5,352万6,000円の追加で、玉陵中学校区の学校再編に伴います、測量・地質・造成設計費、小学校建築及び玉陵中学校の大規模改修に係る実施設計などがございます。また、学校再編を進めている複式学級を有する学校におきまして、教育機会の均等や教育水準の維持向上を図るため、新たに複式学級教育支援員を5小学校に6名配置することといたしております。

第2表債務負担行為補正につきましては、玉陵小学校（仮称）建築等及び玉陵中学校大規模改修実施設計業務の期間及び限度額を定めるものでございます。

第3表地方債補正につきましては、小学校施設整備事業及び中学校施設整備事業の限度額を変更するものでございます。

以上、主な内容等について御説明を申し上げましたが、詳細につきましては所管の各委員会において御説明いたしますので、御審議の上、原案どおり承認賜りますよう、よろしく願いをいたします。

○議長（作本幸男君） 以上で提案理由の説明は終わりました。

\*\*\*\*\*

#### 日程第6 議案の委員会付託

○議長（作本幸男君） 日程第6、「議案の委員会付託」を行ないます。

ただいま議題となっております議第88号平成26年度玉名市一般会計補正予算（第2号）の議案1件については、お手元に配付しております議案付託表のとおり、それぞれ所管の常任委員会に付託いたします。

議案付託表

総務委員会

議第88号 平成26年度玉名市一般会計補正予算（第2号）  
（総則・第1表歳入の部・第3表地方債補正 変更）

文教厚生委員会

議第88号 平成26年度玉名市一般会計補正予算（第2号）  
（第1表歳出の部、⑩教育費・第2表債務負担行為補正 追加）

○議長（作本幸男君） 各委員会におかれましては、直ちに委員会を開会の上、審査をお願いいたします。

委員会審査のため休憩いたします。

午前10時17分 休憩

午後 3時54分 開議

○議長（作本幸男君） 休憩前に引き続き、会議を開きます。

本日の会議時間は、議事の都合によりあらかじめ延長いたします。

議時の都合により休憩いたします。

午後 3時54分 休憩

午後 4時17分 開議

○議長（作本幸男君） 休憩前に引き続き、会議を開きます。

\*\*\*\*\*

#### 日程第7 委員長報告

○議長（作本幸男君） 日程第7、「委員長報告」を行ないます。

議第88号平成26年度玉名市一般会計補正予算（第2号）の議案1件を議題といたします。

お手元に配布しております委員会審査報告書の朗読はこれを省略いたします。

ただいま議題となっております議案について、委員長報告を行ないます。審議の方法は各委員長の報告のあと、質疑、討論の後、採決いたします。

各委員長の報告を求めます。

総務委員長 江田計司君。

[総務委員長 江田計司君 登壇]

○総務委員長（江田計司君） こんにちは。

総務委員会に付託されました案件は、議案1件であります。委員会における審査の経過と結果について御報告いたします。

議第88号平成26年度玉名市一般会計補正予算（第2号）中付託分についてであります。執行部から、歳入歳出予算の総額に、それぞれ5,352万6,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を301億2,990万8,000円とすること。歳入、地方債補正について、それぞれ予算項目ごとに説明がありました。

議員からは、玉陵小学校（仮称）ができて、6校が1校になった場合、管理費、交付金等の比較、通学の方法は考えているのか。また、その負担はどの質疑に、執行部から、玉陵小学校（仮称）については、把握していませんが、学校規模配置適正化後の小学校は7校になった場合、2億3,000万円ほどの交付税減になるが、プラス面としては、スクールバスや新小学校建設費に係る起債の算入が見込まれている。また、通学については、遠距離はスクールバスを考えている。スクールバスの負担は、保護者にはないよう、補助を考えているとの答弁でした。次に、財政上の観点からすれば、小中一貫教育は同じ敷地で行なう必要があるのかとの質疑に、執行部から、一体、併設、連携などの方法があるが、玉陵小学校（仮称）については一体型でいきたいとの答弁でした。また、委員から、玉名小学校に新しい学校をつくれれば、経費、用地等は必要ないのではないか。スクールバスの無料化は公平性があるか。また、議論が必要ではないのか。バスは何台考えているのかとの質疑に、執行部から、増築も用地購入も必要であり、費用は2億7,000万円ほど安くなるが、将来性を考え、新しい学校を新設していきたい。児童は、今の段階でスクールバスか徒歩を考えている。台数については、今後検討していきたいとの答弁でした。次に、委員から、跡地利用で、どのような協議があっているのかとの質疑に、執行部から、他市の状況を見ながら、跡地利用検討委員会で検討したいとの答弁でした。次に、委員から、小中一貫は、中学校の教師が小学校へも教えに行くのかとの質疑に、執行部から、小中連携をとりながら、より充実した教育を目指し、スムーズな連携ができるように考えているとの答弁でした。次に、委員から、玉陵中学校区以外の学校も統合するときは、一体校とするのか。臨時議会を開くには、何か変わったところはあるのかとの質疑に、執行部から、学校規模配置適正化では、1小1中を考えている。財政、地域の実情を踏まえて考えていきたい。また、玉陵中学校区において、地区や個別に話を伺う中で、理解は深まったと考えている。開校を平成30年4月に間に合わせるには、9月末までに農振除外の申請をする必要があるとの答弁でした。次に、委員から、6校を1校にした場合、教員の配置等はどうなるのかとの質疑に、執行部から、基準に変更はないが教科の時間に余裕がある教師に対応をお願いするとの答弁でした。次に、委員から、小田、梅林の理解を得たような説明だが、まだまだ理解されていないのではないのかとの質疑に、執行部から、賛成、反対の意

見はありますが、保護者等の不安、疑問を解消していきたい。懇談会の中で説明してきましたが、理解を示されているようであるとの答弁でした。次に、委員から、どういう学校になるのか。具体的にどういうふうに進むのか、教師の意見も入れてほしいとの質疑に、執行部から、実施設計を進める中で、保護者、教師の意見を聞いて、意見を反映していきたいとの答弁でした。次に、委員から、玉陵中学校（仮称）は4・3・2等の構想はあるのか。特色を見せてほしいとの質疑に、執行部から、9学年制には保護者の不安があった。6・3制を守りながら、指導方法として考えていきたいとの答弁でした。次に、委員から、小学校の体育館は、避難場所として必要ではないかとの質疑に、執行部から、当然、必要である。今後、全庁的な取り組みで考えていきたいとの答弁でした。次に、委員から、対象校区において十分な理解が得られていない、通学方法・跡地利用など議論がされていない、いまだ大きな課題があり、補正予算は時期早々であるとの修正動議が提出されたが、賛成少数で否決されております。

採決については、議第88号中付託分について、原案のとおり、賛成多数により可決すべきものと決しました。

以上で総務委員会に付託されました案件の報告を終わります。

○議長（作本幸男君） 文教厚生委員長 田中英雄君。

〔文教厚生委員長 田中英雄君 登壇〕

○文教厚生委員長（田中英雄君） 今期、文教厚生委員会に付託されました議案1件について、審査の経過と結果を御報告いたします。

議第88号平成26年度玉名市一般会計補正予算（第2号）中付託分についてであります。

歳出の主な内容は、10款教育費において5,352万6,000円の追加。これは玉陵中学校区の学校再編に伴う、測量・地質調査・造成設計費、小学校建築及び玉陵中学校の大規模改修に係る実施設計等によるもの。また、学校再編を進める複式学級を有する学校において、教育機会の均等や教育水準の維持向上を図るため、新たに複式学級教育支援員を、小天東小学校を含む、5小学校に6名配置するもの。

第2表債務負担行為補正につきましては、玉陵小学校（仮称）建築等及び玉陵中学校大規模改修実施設計業務の期間及び限度額を定めるものです。

執行部からの説明の後、委員から、地域住民の学校再編に対する合意が得られているかどうかについて、どのように判断していくかとの質疑に、執行部は、アンケート調査や実際に地域を回る中で、どれだけ合意が得られているのかの判断基準について線引きするのは難しい。地域への説明は今後も小まめに継続し、理解を得る努力を行なっていくが、実際にこれまで地域に出向き意見を聞く中で、次第に理解を得られてきている感触はある。梅林・小田地区においても明確な反対意見はなく、ほとんどの方は、学校再

編について「いずれ必要である」との意見。むしろ統合したあとの心配点についての意見が多いため、地域の不安を払拭できるよう、継続して説明を行なっていくとの答弁。これに対し委員から、3月定例会、一般質問の教育長答弁でも、国からの通達について地域の合意を最重要視していく旨の答弁があったが、先ほど答弁であったように、地域の合意形成を図ることは難しいとの考えでは、学校再編を進めるべき十分な意見集約はできないのではないかとの意見。また、関連して委員から、次第に賛成が多くなっている感触があるとのことだが、合意が得られたことを示す具体的なもの。例えば、学校再編を早急に進めるべきである旨の請願などは出ているのかとの質疑に、執行部は、合意形成が得られたことを示す文書等の提出はない。意見交換会や個別に説明する際の聞き取りにおいての意見取りまとめは行なっているとの答弁。これに対して委員から、やはりPTA会長、区長、保護者の方からの賛成、合意を示すものが必要ではないかとの意見が上がりました。次に、委員から、今回の学校再編計画がうまく進まない場合、例えば、4校を1校にする案も検討するのかとの質疑に、執行部は、現在、学校規模配置適正化計画に沿った進め方をしているが、このまま進められない場合には、特に三ツ川・月瀬校区の複式学級解消を図るため、再度検討する必要があると思うとの答弁でした。その他委員から、公立学校としてこの状況下において統合を決めるというごり押しをしていいのかという思いもある。もう少し地域の合意が必要なのでは。反面、せっぱ詰まっている三ツ川、月瀬校区は早急に対応すべきであるといった意見や、5年先、10年先、20年先を見たときに、今の再編計画が必要になってくると考える。将来を十分に見据えた上で決断すべきであるとの意見が上がっております。質疑の中で委員からは、教育委員会のこれまでの、特に3月議会終了後からの取り組みについては理解できるという意見が多くある一方、地域の合意状況ははっきりとわからないため、学校再編を進めるべきか否か、判断しづらいとの意見が数多く見受けられました。

以上、意見交換がなされ審査した結果、委員から、今回計上されている学校再編に係る関連予算を減額する修正案を付した修正動議が提出されております。提案理由として、本年3月定例会で、小学校統合の予算が削除されてから、教育委員会は4月21日から28日にかけて、6小学校の保護者と未就学児童を持つ家庭に対してアンケート調査を実施した。その結果、梅林校区では69.7%が「6小学校の統合は必要でない」と回答し、本年3月定例会で問われた住民の合意が不十分な状況が梅林地区で証明された。アンケートから3カ月がたつが、梅林小学校区では6小学校統合に対して、今日においても住民の合意が得られていない状況にある。今臨時会の補正予算には、複式学級支援員の予算化がなされており、これは保護者の少人数学級における不安に応えたもので評価すべきものであり、否定すべきものではない。したがって、住民の合意が十分でない、学校規模適正化事業に関する4,854万8,000円の削除を求め、予算の修正をする

ものであるとの説明がなされ、採決に移りました。

まず最初に、議第 88 号中付託分に関する修正案について挙手による採決の結果、修正案については、賛成少数で否決すべきものと決しました。

次に、議第 88 号中付託分の原案について挙手による採決の結果、原案については、賛成多数で可決すべきものと決しました。

以上で、今期文教厚生委員会に付託されました案件の審査報告を終わります。

○議長（作本幸男君） 以上で各委員長の報告は終わりました。

\*\*\*\*\*

## 日程第 8 質疑・討論・採決

○議長（作本幸男君） 日程第 8、「質疑・討論・採決」を行いません。

これより質疑に入ります。ただいままでの各委員長の報告について質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（作本幸男君） 質疑なしと認めます。

これより討論に入ります。討論の通告がありますので発言を許します。

16 番 前田正治君。

〔16 番 前田正治君 登壇〕

○16 番（前田正治君） 日本共産党の前田正治です。

ただいま文教厚生委員会、総務委員会で今議会に提案してある議第 88 号平成 26 年度玉名市一般会計補正予算（第 2 号）の中で、学校規模適正化事業に関する予算を削除する修正案が否決されたと報告がありました。私は、修正案に賛成する立場でありますので、原案について反対をいたします。

市議会は平成 25 年、昨年 6 月議会におきまして、玉陵中学校区 6 小学校の統合計画の見直しを求める決議を全会一致で可決をしました。ところが、平成 25 年 9 月議会には、玉陵小学校（仮称）測量・地質・造成設計調査業務委託費が提案されて、議会は地元住民の十分な理解が得ているとは言いがたく、早急に新小学校の建設に向けた予算を計上するのではなく、再度地元住民との話し合いを持つべきと関係予算を全額削除する修正案を可決しました。教育委員会は、それを受けて平成 25 年、昨年 10 月から 11 月にかけて、地元住民との意見交換会を実施して、住民の意見聴取を行ないました。校区の意見では、小学校の合併に否定的な意見も多数あり、住民の理解と合意が十分とは決して言えない状況がありました。ところが平成 26 年 3 月議会で、また提案をされた学校規模適正化事業に関する予算について、住民の合意が不十分な状況のもとで、小学校の統合計画をさらに推進することは、住民不在の政治であり、議会がそのようなことに同意することがあってはならないと、その予算を削除する修正案が可決をされまし

た。3月議会では教育長は、文部省及び文部科学省の「公立小中学校の統合について」という通達について、現在も有効な重要文書としてとらえており、その要旨は、無理な学校統廃合は行なわず、住民合意を得る。総合的に判断した場合の小学校規模の重視、学校の地域的異議の考慮などと答弁をしております。3月議会で小学校統廃合の予算が削除されてから、教育委員会では、先ほどありましたように、6小学校の保護者と未就学児を持つ家庭に対して、アンケート調査を実施しました。その結果は、梅林校区で67.9%が6小学校の統合は必要でないと回答しております。アンケート実施から3カ月がたちました。梅林校区では、6小学校に対して、今日においても住民の合意が得られていない状況にあります。私が校区の人に聞く限りは、反対の意見が多いのであります。

今回の議会の補正予算には、複式学級教育支援員の予算化がなされています。複式学級の解消という点では、これはこの学校統廃合の意見交換会の中で、梅林及び三ツ川、月瀬、いろんなどころから出された共通の課題であります。したがって、保護者の少人数学級における不安に応えたものであり、これはいち早く進めるべきものであります。住民合意が十分でない、学校規模適正化事業に関するこの予算には、賛成できないものであります。この議案の一番のキーワードは「住民の合意」という点であります。今、委員長の報告の中にもありましたが、住民の合意が完全に取られたという確証はどこにもありませんでした。私は、こういう合意不十分、時期尚早のこういった問題について賛成することはできません。

以上、討論とします。

○議長（作本幸男君） 通告による討論は終わりましたが、ほかに討論はありませんか。

3番 松本憲二君。

[3番 松本憲二君 登壇]

○3番（松本憲二君） 自友クラブの松本でございます。

私も、先ほど前田議員がおっしゃったように、この議第88号平成26年度玉名市一般会計補正予算（第2号）には反対ということで討論をさせていただきます。

昨年の10月に市議会議員になりまして、この玉陵中学校区の6小学校の統廃合ということで、ずっと議論がなされています。その中で、前教育長の森教育長、そして今、現教育長の池田教育長のお話では、その小学校の小規模人数の複式学級をなくしたい。それと小中一貫校のというふうにおっしゃいますけれども、そしてまた今、現教育長の池田教育長は、やはり早くその少人数の学校に早くお友だち、生徒のいっぱいいるところに行かせてやらないと、なかなかそういういっぱいのお友だちと切磋琢磨をしながらいい教育ができるようにというふうにおっしゃいますけれども、その30年の4月開校

と、あと4年間ぐらいありますよね。今、現小学校に行っているその子ども、特に三ツ川小学校と月瀬小学校、複式学級で月瀬小学校は今、全校生徒が15、6名というふうにお聞きをしておりますが、その子たちは30年の4月1日の開校まで、今のままの学校に登下校をするというふうにお伺いしております。私は再三再四、全員協議会でも「どうしてじゃあ早く複式学級を解消するふうに話をもっていけないんですか」というふうに何度もお願いをしますけれども、そういう議論は全然なされません。じゃあ、その30年まで、学校が開校するまでに行けない子どもは、その少人数でお友だちがふえないままで学校を卒業していくわけです。それは僕はちょっと議論が間違っているんじゃないかと思います。僕は文教厚生委員さんとPTAさんとの会合が以前、文化センターでなされたときに傍聴に行きました。そのときに、月瀬小学校の、多分お母さんだっただと思います。「私は友だちを子どもにいっぱいつくってあげたい。だから早く、小学校統廃合にお願いできないでしょうか」という訴えをされました。それは十分わかります。僕も合併には反対じゃないです。でもその月瀬小学校、三ツ川小学校が少人数で非常に困っておられるのであれば、それを早く解消する。そして議論をしていくというのが筋じゃないんでしょうか。

そういうことをもって、今回のこの予算に関しては、私は反対いたします。

以上で終わります。

○議長（作本幸男君） ほかに討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（作本幸男君） これにて討論を終結いたします。

これより採決に入ります。

議第88号 平成26年度玉名市一般会計補正予算（第2号）

以上、予算議案1件について採決いたします。

本案に対する各委員長の報告は可決であります。異議がありますので、起立により採決いたします。

議第88号については、各委員長の報告のとおり決定することに賛成の諸君の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（作本幸男君） 起立多数であります。

よって、議第88号については、原案のとおり決定いたしました。

以上で、今期臨時会に付議されました事件はすべて議了いたしました。

これにて本会議を閉じ、平成26年第4回玉名市議会臨時会を閉会いたします。お疲れさまでした。

午後 4時44分 閉会



地方自治法第123条第2項の規定により、ここに署名する。

玉名市議会議長            作 本 幸 男

玉名市議会議員            横 手 良 弘

玉名市議会議員            近 松 恵 美 子

玉名市議会会議録  
平成26年第4回臨時会

発行人 玉名市議会議長 作本幸男  
編集人 玉名市議会事務局長 吉川義臣  
作成 株式会社アクセス  
電話(096)372-1010

---

玉名市議会事務局

〒865-8501 熊本県玉名市繁根木163番地  
電話(0968)75-1155